

現地機関の見直しに係る県議会での議論の状況(平成27年11月～平成28年6月定例会)

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	質 問 者 等
<p>・国・県・市町村の総合戦略においてすべての枕詞は、「人口減少」であり、先進国の中でも日本国は大きなパラダイムシフトが起きていることは周知のとおり。県民参加のもと、関係機関の連携によって地域自らが主体的に取り組める体制地域自らが主体的に取り組める体制の構築が求められている。</p> <p>一億総活躍社会、活力ある日本社会を維持するためには、地方創生はその中核を成すものであり、「信州創生戦略」の成功こそが、現在の県政の最重要テーマであることは言うまでもない。「現地機関の見直し」はそうしたパラダイムシフトを認識した上で、「信州創生に一丸となって取り組み、県民の期待に応えることができる新たな現地機関を目指して」としており、時代認識は正鵠を射たものとなっている。</p> <p>この度の見直しは、10圏域における主体性、或いは現地住民との複合的なコラボレーションなど、従来の形だけのものではなく、時代の変革に合わせた改革が必要である。</p> <p>現地機関の見直しの趣旨と目指すところについて、行政改革課長にお聞きするとともに、総務部長の意気込みを伺う。</p>	<p>・人口減少が進行しているという時代の流れにあって、これまでの行政の枠組み・体制だけでは対応できない課題が生じている。こうした状況を踏まえ、これまでの組織の壁、或いは縦割りの壁を越えて、連携しながら総合力が発揮できるような現地機関にしていかなければならない。</p> <p>・具体的には、横断的な対応が必要な課題について、地方事務所を改組した地域振興局が中心となって他の現地機関とともに取り組む体制を構築していきたいと考えており、そのために必要な予算、人員等を確保することができる仕組みとしていきたい。</p> <p>・これにより、地域振興局長がリーダーシップを発揮し、地域で課題に取り組める「課題解決をする機能」を持つ組織としたい。</p> <p style="text-align: right;">(行政改革課長)</p> <p>・現地機関の見直しの大きな流れとしては、現地のことは現地でできるようにすることであり、横の連携をしっかりと行い、地域課題に立ち向かことが重要である。</p> <p>・これまでも数十年かけて取り組んできた課題であるが、それが十分に達成できていないということでもある。</p> <p>・したがって、単に局ができればいいという訳でなく、それぞれの専門性や迅速性などの長所を活かし、しっかりと横の連携を取りながら、本庁サポートのもと、局を中心に現地が動いていくといった組織とすることが重要と考えている。まさに「背水の陣」で取り組みたい。</p> <p style="text-align: right;">(総務部長)</p>	<p>H28.6月議会 総務企画委員会 本郷議員</p>
<p>・木曾地域の広域連携促進事業で、広域観光等を市町村と県が連携して進めるとのことであるが、木曾の商工観光に携わる課に専任の課長補佐はいるか。</p> <p>北安曇地方事務所も同じであるが、係員が4人しかいない中で、広域観光の推進は考えられない。</p> <p>現地機関の見直しにおいて、県としてやらなければならない仕事も考慮した上で職員定数等の基準を考えてもらいたい。</p>	<p>・専任で観光を担当する課長補佐はいない。</p> <p style="text-align: right;">(行政改革課長)</p>	<p>H28.6月議会 総務企画委員会 宮澤議員</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	質 問 者 等
<p>・現在、安曇野建設事務所と安曇野警察署の管轄区域の整合が取れていないので、一致させるように要望したい。</p> <p>近年は災害が多く、糸魚川静岡構造線も走っていることなどから、災害対応の面で両者の管轄区域が一致していた方が判断も早く、指揮命令もうまくいくと思う。両者の管轄はどのように決めているのか。</p>	<p>・警察署の管轄区域は県警本部で検討し、条例で決まっている。また、建設事務所の管轄区域は建設部を中心に検討し、平成20年から現在のような形になっている。</p> <p>・災害対応の面で両者の管轄区域が一致していることが望ましいことが多々あると思うが、警察署と建設事務所の数は異なっていることから、完全に一致させることは難しい。それぞれが最適配置を考えた結果、今日のような姿になっている。</p> <p>(行政改革課長)</p>	<p>H28.6月議会 総務企画委員会 望月議員</p>
<p>・「現地機関の見直しの方向性(案)」が示され、地域振興局(仮称)の設置等が盛り込まれているが、知事の思いや公約との整合性はどのようであるか、所感を伺う。</p>	<p>・多様な地域特性を持った市町村や広域が存在していること自体が長野県の強み。地域の特色を県としてもより伸ばしていく、市町村はじめ地域の皆さんとより協力連携を深めていくことが、長野県政の発展にとっては極めて重要。</p> <p>・先の県知事選挙の公約においては、地方事務所の機能を強化した地域振興局(仮称)の設置検討等で地域と県政をより身近な関係にするということで公約を掲げさせていただいたところ。</p> <p>・現在検討中の地域振興局(仮称)だが、地域振興に力点を置いて組織体制にしていくということで、地方事務所が今取り組んでいる業務内容だけではなく、それぞれの現地機関が連携して取り組むような横断的課題について統括していくことを明示し、横断的な課題を進めていく上での予算、人員、権限を確保できるような仕組みを作っていこうという方向性を示させていただいている。</p> <p>・また、組織体制も全ての局が一律ではなく、地域特性を考慮して課や係の配置を考える、あるいは、場合によっては特命担当というようなものを配置するという一方で、地域の課題にしっかり向き合える方向性を出している。</p> <p>・これは私の目指している地域の多様性を尊重する考えと方向性は合致しており、今後更に様々な検討を行った上で、来年度の組織改正に向けて議論を深めていきたい。</p> <p>(知事)</p>	<p>H28.6月議会 堀場議員 (答弁作成:行政改革課)</p>
<p>・現地機関の見直しに関して、市町村アンケートの自由記述を見ると、問1から3について、かなり辛辣な意見も寄せられていると感じているが、行政改革課としては、印象も含めてどのように総括しているか。</p>	<p>・市町村からは自由記載ということで大変多くの意見をいただいた。委員ご指摘のとおり大変厳しいご意見が多く寄せられ、真摯に受け止めなければならない。全体で見ると、市町村にとって県の組織が大変厳しい目で見られていると受け止めている。</p> <p>(行政改革課長)</p>	<p>H28.2月議会 総務企画委員会 小林(東)議員</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	質 問 者 等
<p>・現地機関の見直しについては、形から入ると大きな課題を逆に抱えていくのではないかと思っている。例えば広域観光、地域間の公共交通のあり方など、テーマを絞って地域間の連携を図って、現地機関の総合調整役を果たしていくような入り方をしていないと、地域振興局に局長を置いて、その下で三機関がまとまってというような恰好から考えていくよりも、それぞれの地域でテーマを決めて、その中でいろいろな地域間連携を作っていくかなければならないと思うがいかがか。</p>	<p>・形だけ一つの組織にするということに拘るということだけでなく、現状でも県の組織の間で、情報をお互いやりとりする密度を高くしていくことも大事だと思っている。今回いただいた意見の中でも、「県の機関同士でお互い尋ねてくれればよいものを役場に聞いてくるのはいかがなものか」というご意見もあり、大変ごもっともと思っている。地域戦略会議で抽出した課題にどのように対応していくか、それは現行の組織の中でも対応できるものがあると思われるし、また組織を見直したほうが、よりうまく対応できるものもあると思われるので、そういった点を踏まえて検討していきたいと思っている。</p> <p>(行政改革課長)</p>	
<p>・鳥取県を視察した際、地域振興局ということで現地機関がまとまっているが、県の南西部の3町と県の出先機関で、連携ということで様々な課題を抽出して広域でやりませんかということで県が音頭をとって始めてきた。母子の健康、障がい者の自立、発達障害の問題などは、3町と県の出先機関の連携が非常によくとれ成果があった。それ以外のいろいろな課題については、県の出先機関と町の個々の関係に切り替えることでスムーズにいった。そのような方法も模索していくことが、ここで挙げられている課題解決のための一つの考え方と感じているので、そういったところも是非検討いただきたい。</p> <p>・また、保健福祉事務所や建設事務所は専門的な人材を抱えている。その人材を小さな町村にしっかり振り向けてもらいたいなどの課題も見えてきている。どのように課題解決していく方針か。</p>	<p>特に小さな町村で専門人材がなかなか確保できない状況があることはご指摘のとおり。小規模町村が多く、また管轄区域が広がっているというのが、長野県の他県にない特徴としてある。そういった状況を踏まえて、県としてこれから果たしていくべき役割は、専門性の確保であるとも思っているのので、今回の現地機関の見直しに当たっても十分留意して検討していきたい。</p> <p>(行政改革課長)</p>	
<p>・現地機関の見直しについて、委員会の資料に市町村アンケートの結果が出ているが、保健福祉事務所と建設事務所に比べて、地方事務所の評価が低く、市町村のためにあまり役立っていないととれるが、どのように受け止めているか。</p>	<p>・市町村アンケートは具体的な市町村名を公表しないということを条件として率直な意見を回答いただいたもの。保健福祉事務所と建設事務所は、役割がはっきりしており、専門的な人材がおり、地域の課題に対して専門性を発揮しているという評価を得ているものと考える。</p> <p>(行政改革課長)</p>	<p>H28.2月議会 総務企画委員会 宮澤議員</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	質 問 者 等
<p>・地方事務所と比べ、建設事務所はなるべく細かいところに置いてもらった方がよいと市町村は回答しているように思えるが、いかがか。</p>	<p>・建設事務所は13あり、市町村や現場に近いところで仕事ができているということもあろうと思う。これも点数が比較的高くなっている要因の一つと考える。 (行政改革課長)</p>	
<p>・見直しの方針はいつ頃出して、このアンケート結果を方向性にどのように活かすつもりか。</p>	<p>・本会議で知事が答弁したとおり、平成28年度前半に方向性を出し、平成29年4月からの改正を目指している。 ・保健福祉事務所と建設事務所の専門性を評価していただいていること、三所の連携がマイナスの評価になっていることから、専門性と総合力とをより高めていけるような組織として考えていかなければいけないと考えている。 (行政改革課長)</p>	
<p>・長野地方事務所、松本地方事務所に建設事務所を加えるともっと大きくなり、大北や木曾と比べて大きくなり、地域によって差がつき過ぎると思うがいかがか。</p>	<p>・今は10地域に同じように組織を置いている。より専門性を発揮するために、4か所などに集約した方がよいと思われるものもあると思うので、そのような視点からも検討している。各地域の人口規模などに応じて、最適な組織の形を検討していくことが大事であると考えている。 (行政改革課長)</p>	
<p>・組織は大きくすればするほど分かりにくくなる。その点は議員からもいつも指摘されている。市町村アンケートは大変重いものだと思う。組織改正を行おうとする側と受け手との認識が違っていることを表しているものだと思う。総務部長は地方事務所などの現地機関のあり方についてどのように考えているか。</p>	<p>・人口減少の時代の中で、地域をどのように維持・活性化させていくかは地方創生の大きな課題であり、長期的なスパンで考えていかなければならない。その中で現地機関をどうしていくべきかの検討を進めているところである。議会の皆様からのご指摘や、市町村アンケート等の結果を踏まえ、より最適な方向を見つけていきたい。 (総務部長)</p>	
<p>・現地機関の見直しについて、県庁全体の仕事の見直しや、本庁で執行すべき仕事と現地で執行すべき仕事の仕分けが行われるべきと考えるがいかがか。</p>	<p>・本庁と現地機関の関係性あり方、私ももっともっと情報共有を密にして、フラットな関係性にしていくことが大変重要だと思っている。意識をしっかりと変えていく上でも、コンプライアンスの推進をしっかりとやっていきたい。 ・今回の現地機関の見直しでは、現地機関と本庁との業務分担の見直しや、県から市町村等への権限移譲などが重要なポイントだと思っている。 ・本庁から現地機関への権限移譲については、現在本庁で行っている仕事の中で、現地機関に移すことが適切なものについては、積極的に現地に移譲していきたい。 ・他方で、専門的な対応が必要なもの、あるいは年間数件しか処理件数がないような現地機関の事務については、住民の利便性に配慮しながらも、場合によっては、処理する事務所の集約、あるいは本庁での一括処理を行うことで、職員の専門性や業務の効率性を高めていくということも重要だと思っている。 ・本庁と現地の役割分担については、十分検討の上、対応していきたい。 (知事)</p>	<p>H28.2月議会 今井(敦)議員 (答弁作成:行政改革課)</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	質 問 者 等
<p>・本庁は現地機関のバックアップ体制を敷くという思いきった意識転換も必要を思うが所見を伺う。</p>	<p>・本庁の組織は、部局ごとに守備範囲が分かれているが、現場で生じている課題、あるいは県民のニーズは、決して部局ごとに整理して発生しているわけではない。地域や市町村の課題をスピーディーに解決して、県民の期待に応えていく上では、縦割りの発想から脱却して、部局横断的に取り組む体制、そして、現地機関と本庁とが一体となって総合力を発揮していくという形を作っていくことが重要だと思っている。</p> <p>・現在は企画振興部の現地機関となっている地方事務所の組織的な位置付けのあり方や、現地機関の機能強化を図る場合に現地機関をバックアップしていくための本庁の組織体制をどう構築していくべきか、こうした観点の検討が重要。</p> <p>・本庁との関連も含め、現地機関のあり方について、しっかりと検討を行っていきたい。</p> <p>(知事)</p>	
<p>・現地機関の機能・役割等の見直しは、いつ頃までに結論を出すのか。</p>	<p>・現在、行政機構審議会におきまして、専門的な見地からご審議をいただいているところ。大まかなイメージで申し上げれば、平成28年度前半にも審議会の結論を出していただき、それを踏まえた上で、県としても具体的な実施案をまとめていきたい。</p> <p>・その上で、平成29年4月にも新たな現地機関の体制をスタートすることができますよう取り組んでいきたい。</p> <p>(知事)</p>	
<p>・平成27年6月議会で小林東一郎議員が質問した現地機関の見直しの関係について、その後の状況はどうか。</p>	<p>・現地機関の見直しについては、全体的には検討中であり、その詳細をお知らせできる段階には至っていない。昨年の11月から、県下10地域において現地機関の職員を対象とした討議を行ったが、職員からも、現地機関の見直しに併せて、本庁についても検討する必要があるという意見も寄せられているところ。</p> <p>・こうしたことも踏まえ、例えば、現在は企画振興部の現地機関となっている地方事務所の組織的な位置付けのあり方や、現地機関の機能強化を図る場合に現地をサポートするために必要な本庁の組織体制をどう構築するかなどの視点から、引き続き検討を進めている。</p> <p>(知事)</p>	<p>H28.2月議会 下沢議員 (答弁作成:行政改革課)</p>
<p>・建設事務所の存続を求める請願が本委員会で採択された場合、県議会全体の流れが「存続」になると思われるが、その考え方を県として尊重するのか。</p>	<p>・県の組織は、本庁、現地機関ともに条例で設置されており、県議会の議決をいただいた条例に基づいて組織を設置しているので、議会で決められた方向に従って組織を設置していくということである。</p> <p>(行政改革課長)</p>	<p>H27.11月議会 総務企画委員会 村上議員</p>
<p>・現地機関の見直しについて、知事が現地の若手職員などと話しをして様々な対応をしているという話だったが、現状としてどのような様子か。</p>	<p>・11月11日に知事が出席して第1回を長野地区で行い、来年1月にかけて県内10地域で職員討議を行う予定。</p> <p>・1回目の開催状況については、A～Cの検討案を示し、具体的に各案の良い点悪い点について討議をしたが、それぞれについて肯定的な意見、否定的な意見が様々に出ている。例えば、現状どおりの組織にするという案では、実行しやすいし災害時にただちに判断が下せて良いという意見の一方、総合的な視点が弱くなりがちではないかという意見など、様々な意見が出た。今後9地域の意見も踏まえ、県としてどのように考えるか検討して行きたい。</p> <p>(行政改革課長)</p>	<p>H27.11月議会 総務企画委員会 下沢議員</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	質 問 者 等
<p>・例えば北安曇地方事務所には商工観光建築課というのがあるが、住宅部と土木部が一緒になって建設部になった時に、建築課は建設事務所に移すべきだったと思うがどうか。本来、建築は建設部なので、建設事務所に早いうちに、できれば来年の4月から移すべきと考えるが、いかがか。</p>	<p>・建築課は現在地方事務所であり、本庁の建設部設置の際に検討した経過があるが、建設事務所が13の事務所があり、長野地域、松本地域においては建設事務所の数が多いという事情があり、建築課を建設事務所には持って行かず、今日まで来ている。</p> <p>・現在、現地機関の見直しを検討している中で、様々な意見を聞いている所だが、職員の中にも議員と同じ意見もあり、今後の見直しの中で考えていきたい。</p> <p>(行政改革課長)</p>	<p>H27.11月議会 総務企画委員会 宮澤議員</p>
<p>・現地機関の見直しが行われているが、市町村では、砂防事務所、建設事務所について今の体制で非常に具合がよいと考えており、変える必要がないと考えているが、建設部長の所見はいかがか。</p>	<p>・現地機関の見直しについては、行政改革課が主体となって進めているが、地域の実情、現地機関がどのような役割を果たしているかという具体的な要望も伝えつつ、検討してもらいたいと思っている。</p> <p>(建設部長)</p>	<p>H27.11月議会 建設委員会 服部議員</p>
<p>・知事の目指す現地機関のあり方とはどのようなものか。</p>	<p>・今回の現地機関の検討にあたりましては、大きく三点目指す方向性を掲げており、こうしたことを目指して検討を行っていく必要があると思っている。特に長野県は、それぞれの地域が、独自の風土・歴史・強みを持っているので、こうしたものをしっかり活かしていく上では、本庁で多くのことを解決するのではなく、出来る限り現場で物事が判断できる組織にしていくことが大変重要。</p> <p>・組織のあり方は唯一絶対、これが百点満点の解で、あとは零点というものではなく、様々な要素を勘案しながら総体的に考えていくもの。今申し上げたような観点を踏まえて、より望ましい、より適切な組織のあり方をしっかり追求していきたい。</p> <p>(知事)</p>	<p>H27.11月議会 荒井議員 (答弁作成:行政改革課)</p>
<p>・審議会も既に4回開催されているが、この間、関係市町村からの意見にはどのようなものがあるのか。</p>	<p>県では今年8月に「県の現地機関の機能・役割等のあり方に関する市町村アンケート」を実施した。</p> <p>設問の中で、「地域課題を解決する上で必要な機能を果たしているか」、「市町村支援は十分か」、「災害時の対応は十分か」という点については、「十分できている」あるいは「できている」と回答した市町村が比較的多かった一方、「横断的・総合的に地域課題に取り組んでいるか」との設問については、こうした回答が少なく、この点をやや低く評価する傾向が見られたところ。</p> <p>個別の主な意見では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題を解決するためには、現地機関に権限や予算が必要。 ・現地機関における総合的で横断的な取組は、これから一層強化していくことが必要。 ・現地機関には、広域圏での連携調整の役割や、小規模町村への支援を更にお願したい。 <p>などが寄せられた。</p> <p>また、アンケートとは別に、須坂、千曲、安曇野建設事務所について、地域に密着した現地機関として存続すべきとの請願、要望などを須坂市、千曲市、安曇野市から頂いている。</p> <p>(総務部長)</p>	

質 問 要 旨	答 弁 要 旨	質 問 者 等
<p>・現地機関内部における課題や考え方には、どのようなものが挙げられているのか。</p>	<p>・平成27年5月にそれぞれの所属に文書で照会し、現地機関の抱える課題や今後の方向性について把握した。現地機関からの意見は、幅広く多岐にわたるが、今回の「現地機関の機能・役割等の検討に当たっての主な論点」として掲げた項目に関する指摘が多くあった。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生に係る市町村支援の強化や、それぞれの地域が抱える課題への対応に当たって、現地機関の企画・総合調整機能を強化すべき。 ・6次産業化の推進などにおける農業分野と商工業分野の更なる連携。 ・観光に関する業務については、広域的な取組が求められているので、地方事務所単位よりも更に広域的な連携が必要。 <p>といった意見が寄せられた。</p> <p>・更に、組織体制に係るものだけではなく、庁舎・施設の老朽化、マンパワー不足に関する課題なども寄せられた。</p> <p>(総務部長)</p>	
<p>・一般県民からは、どのような意見や要望が出てきているか。</p>	<p>・県民の皆様からは、県民ホットラインで集約化のご意見が寄せられているものの、現在のところ、現地機関のあり方に関して、多くのご意見をいただいている状況にはない。</p> <p>・今後、審議会において、一定の見直しの方向性が整理されたところで、例えば、パブリックコメントの実施など、幅広く県民の皆様のご意見を伺う場面を設け、更に検討を進めたい。</p> <p>(総務部長)</p>	
<p>・現地機関との職員討議では、地方事務所、保健福祉事務所、建設事務所の3所の組織体制を3案に絞り、叩き台として提示し、検討したようだが、意見を聞き始めている段階で、このような手法をとった根拠や理由はどのようなものか。</p>	<p>・職員との意見交換は、現地で働く県の職員がどういう問題意識を持っているのか、あるいは持っていないのかをしっかりと把握する上で必要ということで実施している。</p> <p>・職員討議の資料は、検討例としてAからC案を掲げているが、具体的な議論をするためのあくまでも例として示したものであり、私も一緒に参加した時には、なるべく自由に発想してほしいと職員に伝えたところ。</p> <p>・固定された枠の中で意見を言ってもらおうというよりは、職員が実際どういう問題意識を持っているかがより私としては重要だと思っている。職員の問題意識や仕事をしていく上での様々な課題や悩みが幅広く出されるように工夫して実施していきたい。</p> <p>(知事)</p>	